

パーキングエリア

2025. 5. 20

たまに、宇都宮までプロバスケットボールの試合を見にいくことがある。この前の土曜日も試合があった。だが、土曜日の午前中は、部活動指導員業務がある。そのため、今回はあきらめた。家人は、朝の新幹線で宇都宮に向かうことになっていた。

ところが、その土曜日は雨だった。あえなく部活動はなくなった。ならばバスケットボールの試合に行くかとなるところだが、チケットをとっていない。屋外スポーツの悲しい性としか言いようがない。おかげで、雨の土曜日を一人で過ごすこととなった。

翌日の日曜日は、朝早くに宇都宮に向かった。一人で長距離を運転するのは久しぶりのことだった。いつものことだが、考えが浮かんできてしまう。アイディアが出てくる。車の中に一人という空間、休日というリラックスした気分、考えや文章が生まれてくる条件がそろってしまっている。

考えたことを覚えていられるのか。どうしようか。葛藤が生まれた。せっかく考えたことを忘れたくはない。決断した。パーキングエリアに入ることにした。トイレ休憩ではない。コーヒーを買うわけでもない。スマホにメモをするためである。サービスエリアでもいいのだが、駐車場が広すぎるし、混んでいる。それに比べて、パーキングエリアはこじんまりとしている。しばしの間、車を止めてスマホに打ち込むだけである。パーキングエリアのほうがよい。

スマホにメモすることができたので一安心である。ところが、また考えが浮かんできた。どうしようか。覚えていられそうもない。また、パーキングエリアのお世話になることにした。初めて、パーキングエリアの利便性を味わうことができた。

ほっとして、また車を走らせた。すると、またまた考えが出てきてしまった。今度は迷わなかった。三度、パーキングエリアに入ることとなった。今度は、トイレ休憩も兼ねることにした。思い浮かんだことをすべてスマホに記録することができた。ちょっとした達成感、満足感に包まれ、幸せな気分だった。

本来であれば、宇都宮までの2時間、寂しい独りぼっちのドライブのはずだった。それが、思いがけず、充実した思考の時間となった。こんなことなら、スマホに音声データとして録音すればいいのではないか。そうすれば、運転しながらでも記録を残すことができる。実際、やってみたことがある。だが、うまくいかなかった。しっくりこなかった。すぐにやめてしまった。

高速道路でも、すぐに立ち寄れるパーキングエリアは便利である。この原稿も、あの日曜日にメモしたことをもとに書いている。